

令和元年度

事業報告

日本赤十字社滋賀県支部

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

目 次

はじめに	1
I 支部事業・一般会計決算概要	2
1 評議員会並びに監査等の実施	2
(1) 評議員会の開催	2
(2) 監査の実施	2
(3) 日本赤十字社理事会・代議員会等への出席	3
(4) 支部名誉職員名簿	6
2 全国赤十字大会への参加	7
3 会議及び職員研修会の開催	7
(1) 会議の開催	7
(2) 職員研修会の開催	9
4 会員増強運動の推進と実績	9
(1) 会員増強運動の推進	9
(2) 令和元年度活動資金募集実績	9
(3) タウンプラス（配達地域指定郵便）を活用した活動資金募集	11
(4) 法人活動資金募集の実績	11
(5) 企業・団体等とのパートナーシップ構築の推進	12
(6) 支部会員管理システムによる適正な寄付者情報の管理と活用	12
(7) 赤十字会員数	13
(8) 有功章等受章者数	13
5 災害救護活動	13
(1) 災害救護活動等の実施	13
(2) 災害救援物資及び弔慰金の配分状況	14
(3) 義援金、海外救援金の受付状況	14
(4) 支部災害救護倉庫の施設見学	15
(5) 救護資機材の整備	15
(6) 訓練及び研修	15
(7) 救護員の登録状況	17
(8) 救護資材整備状況及び救援物資備蓄状況	17
6 臨時救護	18
7 赤十字救急法・健康生活支援講習等の講習普及	18
(1) 救急法	18
(2) 健康生活支援講習	18
(3) 幼児安全法	19
(4) 水上安全法	19
(5) 講習指導員の養成	19
(6) 講習指導員の研修	20
(7) 各種講習指導員数	20
(8) 赤十字講習普及推進サポーター事業	20
(9) 防災教育の普及	21

(10) 滋賀県安全法指導員協議会	22
8 赤十字奉仕団	22
(1) 設団状況	22
(2) 地域赤十字奉仕団の活動	23
(3) 青年赤十字奉仕団の活動	26
(4) 滋賀県無線赤十字奉仕団の活動	27
(5) 滋賀県青少年赤十字賛助奉仕団の活動	28
(6) 滋賀県防災支援赤十字奉仕団の活動	29
(7) 個人ボランティア	31
(8) 赤十字奉仕団以外のボランティアグループの受入状況	31
9 青少年赤十字	31
(1) 加盟校の状況	31
(2) 青少年赤十字指導者協議会郡市支部長会の開催	32
(3) 本社及びブロック主催の講習会、研修会開催状況	32
(4) 支部主催のトレーニングセンター開催状況	32
(5) その他の会議・行事等	33
(6) 青少年赤十字メンバー・加盟校応援プロジェクト事業	35
(7) 青少年赤十字機関紙「JRCしが」の発行	35
10 看護師の教育	35
11 国際活動	35
(1) 「NHK 海外たすけあい」キャンペーンの実施	35
(2) 第4(近畿)ブロック国際人道法普及セミナーへの参加	36
12 赤十字思想の普及	36
(1) 本社作成の広報資材の配布	36
(2) 支部作成の広報資材の配布	36
(3) 世界赤十字デー周知キャンペーン	37
(4) 赤十字体験バスの開催	37
(5) 企業・団体が主催するイベント等での広報	37
(6) 主な広報活動	37
(7) 令和元年度防災・減災プロジェクト～私たちは、忘れない。～の実施	38
13 有功会	39
(1) 会員の数(個人・法人)	39
(2) 事業内容	39

はじめに

日本赤十字社滋賀県支部は明治28年の創設から今日まで、赤十字の人道博愛の精神のもと、戦時には多くの医師や看護師が身を挺して傷病者の看護にあたり、自然災害では負傷者の救護やこころのケアのほか、疾病の予防、治療、公衆衛生の向上に取り組むなど、一貫して苦しむ人に寄り添う活動を続けてまいりました。

新しい時代「令和」の幕開けとなった昨年は、日本赤十字社にとりましても、新名誉総裁となられた皇后陛下をお迎えするという記念すべき年でしたが、その一方で、東日本では、秋に発生した台風15号、19号などによる記録的な大雨により人々の暮らしや農業などに甚大な被害を与えました。その中で、日赤全体では延べ1,000人を超える医療救護班を派遣し、被災地での支援活動にあたりました。

滋賀県支部では、災害救護活動をはじめ看護師の教育、救急法・健康生活支援講習等の講習、赤十字奉仕団・青少年赤十字の育成、国際活動や医療施設の経営、血液事業など様々な活動を行っているところですが、令和元年度につきましても、県民の皆様並びに関係者の皆様のご理解とご協力のもと着実に事業を推進することができました。

また、今年に入り国内における新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、日本赤十字社では、赤十字病院での患者受入れや医療スタッフの派遣をはじめ、感染予防啓発活動、深刻な血液不足への対応などに、組織を挙げて全力で取り組んでおります。

厳しい経済状況の中、赤十字活動を財政面で支えていただいている赤十字会員の皆様、活動推進の直接の担い手である赤十字奉仕団等ボランティアの皆様、赤十字活動を総合的に支えていただいている地区・分区等関係機関の皆様、並びに多くの県民の皆様には、日頃からの力強いご支援に心から感謝申し上げます。

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」のは、日本赤十字社の使命であり、これからも災害時に迅速な救護活動を展開することはもちろんのこと、平時においても「災害から命を守る」取り組みに最大の努力を重ねてまいります。

ここに、令和元年度の日本赤十字社滋賀県支部事業を報告いたしますとともに、引き続き皆様方からの温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年5月

日本赤十字社滋賀県支部

I 支部事業・一般会計決算概要

1 評議員会並びに監査等の実施

(1) 評議員会の開催

開催日	開催場所	議案
6月26日	滋賀ビル9階会議室	第1号議案 平成30年度事業報告並びに歳入歳出決算について 第2号議案 役員の選出について 報告事項 近江八幡市地区活動資金の不明金について
2月13日	滋賀ビル9階会議室	第1号議案 令和2年度事業計画について 第2号議案 令和2年度歳入歳出予算について

(2) 監査の実施

ア 予備監査の実施

平成30年度の会計経理及び業務執行状況について公認会計士による予備監査を実施した。

施設名	実施日	実施場所
日本赤十字社滋賀県支部	4月26日	支部会議室
大津赤十字病院	5月14日	同病院会議室
大津赤十字志賀病院	5月8日	同病院会議室
長浜赤十字病院	5月10日	同病院会議室

イ 監査委員による監査の実施

平成30年度の会計経理及び業務執行状況について監査委員による監査を実施した。

施設名	実施日	実施場所
大津赤十字病院 大津赤十字志賀病院	5月21日	同病院会議室
日本赤十字社滋賀県支部 長浜赤十字病院 滋賀県赤十字血液センター	5月28日	支部会議室 同病院会議室 支部会議室

(ただし滋賀県赤十字血液センターは、業務監査のみ実施した。)

(3) 日本赤十字社理事会・代議員会等への出席

名 称	開催日	会 場	出席者 (対象者)	内 容
日本赤十字社 常任理事会	4月19日	東京都・ 日本赤十字社 本社	北村 常任 理事	I 報告事項 1 赤十字運動月間広報について 2 赤十字この1年の上映 3 予算の補正にかかる社長専決事 項等の決定状況について(平成 31年3月分) II 連絡事項 全国赤十字大会につい て
日本赤十字社 常任理事会	5月24日	東京都・ 日本赤十字社 本社	北村 常任 理事	I 報告事項 1 「平成の災害と赤十字」展につ いて 2 日本赤十字社の災害救護活動及 び関係機関との協働について 3 予算の補正にかかる社長専決事 項等の決定状況について(平成 31年4月分) II 連絡事項 7月の常任理事会及び 役員懇親会について ほか
日本赤十字社 常任理事会	6月27日	東京都・ 日本赤十字社 本社	北村 常任 理事	I 付議事項 1 理事会及び第94回代議員会に付 議する事項について ① 役員の選出 ② 平成30年度事業報告及び収支 決算の承認について
日本赤十字社 理事会	6月28日	東京都・ 新霞が関ビル	北村理事、 中村理事	I 社長挨拶 II 付議事項 1 第94回代議員会に付議する事項 について ① 役員の選出 ② 平成30年度事業報告及び収支 決算の承認について III 報告事項 日本赤十字社長期ビ ジョンについて ほか
日本赤十字社 第94回代議員 会	6月28日	東京都・ 新霞が関ビル	北村代議員、 中村代議員	I 社長挨拶 II 付議事項 1 役員の選出について 2 平成30年度事業報告及び収支決 算の承認について III 報告事項 「日本赤十字社長期ビ ジョン」について

日本赤十字社 常任理事会	7月26日	東京都・ 東京プリンス ホテル	北村 常任 理事	I 社長挨拶 II 付議事項 高知赤十字病院の不動産の処分について III 報告事項 1 赤十字病院グループが直面する地域医療構想について 2 日本赤十字社における流行時の感染症対応について 3 予算の補正にかかる社長専決事項等の決定状況について（令和元年6月分） IV 連絡事項 第47回フローレンス・ナイチンゲール記章授与式について
日本赤十字社 常任理事会	9月20日	東京都・ 日本赤十字社 本社	北村 常任 理事	I 報告事項 1 令和元年台風第15号にかかる日本赤十字社の対応について 2 赤十字病院グループの経営状況について 3 血液事業の動き 4 予算の補正にかかる社長先決事項の決定状況について（令和元年7月及び8月分）
日本赤十字社 常任理事会	10月24日	東京都・ 日本赤十字社 本社	北村 常任 理事	I 付議事項 予算の補正について ① 東京都支部 II 報告事項 1 令和元年台風第19号にかかる日本赤十字社の対応について 2 地域医療構想～役割再検証の要請について～ 3 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にかかる日本赤十字社の取り組み等について 4 予算の補正にかかる社長専決事項等の決定状況について（令和元年9月分）
日本赤十字社 常任理事会	11月27日	東京都・ 日本赤十字社 本社	北村 常任 理事	I 報告事項 1 令和元年度上半期事業報告について 2 大阪赤十字看護専門学校の閉校について 3 予算の補正にかかる社長専決事項等の決定状況について（令和元年10月分）
日本赤十字社 理事会	11月27日	東京都・ 日本赤十字社 本社	北村理事、 中村理事	I 報告事項 1 令和元年度上上半期事業報告について 2 赤十字病院グループが直面する地域医療構想について 3 令和元年台風第19号にかかる日本赤十字社の対応について 4 令和元年度NHK海外たすけあいについて

日本赤十字社 常任理事会	12月27日	東京都・ 日本赤十字社 本社	北村 常任 理事	I 報告事項 1 乳児院の現状について 2 防災・減災に係る取り組みについて 3 「海外たすけあいワークショップ」について 4 令和2年「はたちの献血」キャンペーンについて 5 予算の補正にかかる社長専決事項等の決定状況について（令和元年11月分）
日本赤十字社 常任理事会	1月17日	東京都・ 日本赤十字社 本社	北村 常任 理事	I 付議事項 日本赤十字社社員給与要綱等の一部改正について II 報告事項 1 第33回赤十字国際会議等について 2 地域医療構想に関する現状について 3 予算の補正にかかる社長専決事項等の決定状況について（令和元年12月分）
日本赤十字社 常任理事会	2月21日	東京都・ 日本赤十字社 本社	北村 常任 理事	I 付議事項 1 「日本赤十字社常勤役員の報酬等について」の変更について 2 理事会及び第95回代議員会に付議する事項について ① 役員の選出 ② 令和2年度事業計画 ③ 令和2年度収支予算 II 報告事項 1 予算の補正にかかる社長専決事項等の決定状況について（令和2年1月分）
日本赤十字社 常任理事会	文書審議	—	北村 常任 理事	I 付議事項 1 不動産の処分について（京都府支部） 2 理事会に付議する事項について ① 日本赤十字社本社組織規則の一部改正
日本赤十字社 理事会	文書審議	—	北村理事、 中村理事	I 付議事項 1 規則の改正について ① 日本赤十字社本社組織規則の一部改正 2 第95回代議員会に付議する事項について ① 役員の選出 ② 令和2年度事業計画 ③ 令和2年度収支予算
日本赤十字社 第95回代議員 会	文書審議	—	北村代議員、 中村代議員	I 付議事項 1 役員の選出について 2 令和2年度事業計画について 3 令和2年度収支予算について II 報告事項

(4) 支部名誉職員名簿

役 職	氏 名	備 考
支 部 長	三日月 大 造	滋賀県知事
副 支 部 長	西 嶋 栄 治	滋賀県副知事
〃	小 椋 正 清	滋賀県市長会長・東近江市長
〃	伊 藤 定 勉	滋賀県町村会長・豊郷町長
本社常任理事	北 村 又 郎	元滋賀県町村会長
本 社 理 事	中 村 美尾枝	赤十字奉仕団滋賀県支部委員会顧問
本社代議員	北 村 又 郎	元滋賀県町村会長
〃	中 村 美尾枝	赤十字奉仕団滋賀県支部委員会顧問
支部監査委員	漣 藤 寿	長浜市公平委員
〃	北 村 嘉 英	草津電機株式会社 代表取締役会長
評 議 員	栗 田 克 俊	大 津 市 地 区 選 出
〃	竹 内 俊 彦	〃
〃	堀 井 和 美	〃
〃	大久保 貴	彦 根 市 地 区 選 出
〃	圓 城 治 男	〃
〃	藤 井 勇 治	長 浜 市 地 区 選 出
〃	大 橋 香代子	〃
〃	小 西 理	近江八幡市地区 選出
〃	欠	〃
〃	橋 川 涉	草 津 市 地 区 選 出
〃	清 水 和 廣	〃
〃	岸 年 江	守 山 市 地 区 選 出
〃	山 岡 龍 二	〃
〃	野 村 昌 弘	栗 東 市 地 区 選 出
〃	芝 原 道 子	〃
〃	岩 永 裕 貴	甲 賀 市 地 区 選 出
〃	嘉 郷 重 郷	〃
〃	山 仲 善 彰	野 洲 市 地 区 選 出
〃	谷 畑 英 吾	湖 南 市 地 区 選 出
〃	福 井 正 明	高 島 市 地 区 選 出
〃	小 椋 正 清	東 近 江 市 地 区 選 出
〃	宮 部 庄 七	〃
〃	平 尾 道 雄	米 原 市 地 区 選 出
〃	藤 澤 直 広	東 近 江 地 区 選 出
〃	有 村 国 知	湖 東 地 区 選 出
〃	久 保 久 良	〃
〃	川 崎 辰 己	支部長 選出 滋賀県健康医療福祉部長
〃	田 附 弘 子	〃 赤十字奉仕団滋賀県支部委員会委員長
〃	田 中 滋 規	〃 滋賀県青少年赤十字指導者協議会長
〃	大 道 良 夫	〃 日本赤十字社滋賀県支部有功会長

(令和2年3月31日現在)

2 全国赤十字大会への参加

名誉総裁皇后陛下、名誉副総裁各宮妃殿下のご臨席を賜り、5月22日に、東京都渋谷区の明治神宮会館において、来賓、赤十字会員の代表など、約2000人の出席のもと全国赤十字大会が開催された。

第一部式典は、国家斉唱、社長あいさつに続き、名誉総裁から赤十字事業の推進に尽力された会員の代表13人に有功章の授与が行われた。

滋賀県支部からは、本社理事1人、有功会役員2人、有功章社員6人、奉仕団関係者1人、地区会員代表4人、施設職員2人、支部職員3人の計19人が出席し、東近江市在住の1人が有功章受章者代表として、名誉総裁皇后陛下から有功章を受章された。

3 会議及び職員研修会の開催

(1) 会議の開催

名 称	開 催 日	会 場	対象及び出席者数	内 容
赤十字事務担当主任者会議	4月24日	日本赤十字社 滋賀県支部 会議室	担当者19人 事務局5人	<ol style="list-style-type: none"> 1 地区分区における経理処理の適正な管理について 2 赤十字のしくみと活動 3 平成31年度事業計画及び歳入歳出予算の概要 4 地区分区における業務について
赤十字施設業務連絡会議	5月29日	日本赤十字社 滋賀県支部 会議室	支部事務局長、 施設事務部長 (血液センターは事業部長)、 及び支部・各施設の人事総務担当課長等 計13人	<ol style="list-style-type: none"> 1 会計及び業務の監査 2 職員研修 <ol style="list-style-type: none"> ① 滋賀県支部主催研修 ② 第4ブロック主催研修 ③ 本社主催研修 3 寄付金付自動販売機の設置 4 第4ブロック支部合同災害救護訓練 5 令和元年度赤十字講習普及計画 6 今後の予定 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第1回評議員会 ・令和元年度日本赤十字社滋賀県支部有功会総会 ・職員の会員加入

赤十字施設業務連絡会議	12月3日	日本赤十字社 滋賀県支部会議室	支部事務局長、 施設事務部長 (血液センター は事業部長)、 及び支部・各施設 の人事総務 担当課長等 計12人	1 監査 ① 令和2年度滋賀県支部・赤十字施設の監査の実施 ② 令和2年度滋賀県支部本監査実施に伴う事前ミーティングの実施 2 職員研修 ① 滋賀県支部主催研修 ② 第4ブロック主催研修 ③ その他 3 指定事業社資を活用した救護資機材整備計画 4 その他 ① 寄付金付自動販売機の設置状況 ② 全国赤十字大会への施設長等の参加 ③ 赤十字奉仕団結成70周年記念滋賀県赤十字奉仕団大会の開催 ④ 平成30年7月豪雨災害における災害救助費 ⑤ 令和元年台風19号災害にかかる日本赤十字社の対応 ⑥ 令和元年度「NHK海外たすけあい」の実施 ⑦ 赤十字講習（救急法・幼児安全法）指導員養成講習の実施 5 今後の予定 6 支部施設人事交流推進委員会
赤十字事務担当課長等会議	12月4日	日本赤十字社 滋賀県支部会議室	担当課長15人 事務局5人	1 令和元年度の主な取り組みについて 2 令和元年度活動資金募集状況について 3 令和2年度主要事業計画について 4 その他 ① 令和元年台風19号にかかる日本赤十字社の対応について 動画「令和元年台風19号災害への対応」上映 ② 赤十字奉仕団結成70周年記念滋賀県赤十字奉仕団大会について ③ 赤十字奉仕団役員改選について ④ 令和2年度赤十字奉仕団主要事業計画（案） ⑤ 青少年赤十字活動について ⑥ 公用文書のメール施行について

(2) 職員研修会の開催

名 称	開 催 日	会 場	対象及び出席者数	研 修 内 容
令和元年度 支部・施設10年目 中堅職員研修会 (第1回)	10月29日	Riseville 都賀山	支部・施設の勤続10年を迎える職員38人 講 師 1人 事務局 4人	1 第一線で働く中堅職員に求められる立場と役割を再確認する。 2 役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につける。 3 マンネリを打破し、組織へ積極的に働きかけをしていく意識を向上させる。
令和元年度 支部・施設10年目 中堅職員研修会 (第2回)	11月21日		支部・施設の勤続10年を迎える職員32人 講 師 1人 事務局 4人	

4 会員増強運動の推進と実績

(1) 会員増強運動の推進

5月を「赤十字会員増強運動月間」として、ひとりでも多くの方々に赤十字の思想・活動を理解していただくとともに、赤十字会員への加入、高額活動資金や法人活動資金の拡充強化に努めた。

本年度会員増強運動に使用した資料は次のとおりである。

ア 赤十字会員増強運動実施要綱	100部
イ 小冊子（リーフレット）	6,000部
ウ ポスター	2,800部
エ 赤十字活動チラシ	525,000部
オ 赤十字会員募集のてびき	4,000部
カ 広報用DVD	25部
キ 活動資金領収書	14,400部
ク 法人に対する活動資金協力依頼状	18,200部
ケ 個人情報取扱いに関する啓発パンフレット	3,500部
コ 法人向けチラシ	15,000部

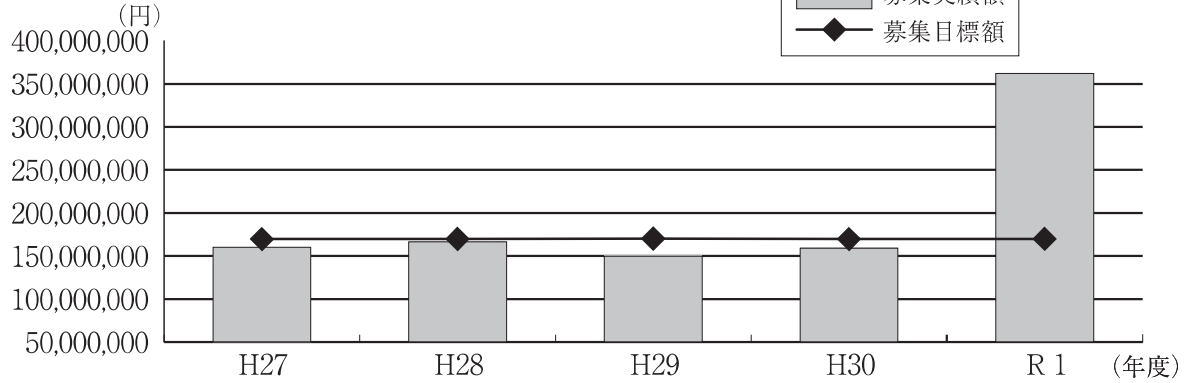
(2) 令和元年度活動資金募集実績

各市町の標準世帯数の40%以上を「500円会員」、28%以上を「1,000円会員」として募集することを目標とし、県民の支援と協力を依頼したところ県民各位や法人各社と地区分区の協力により、別表のような実績を上げた。

令和元年度活動資金募集実績

地区区分名	募集目標額 (A) (円)	地区区分・支部 収 納 額 (B) (円)	支部による募集実績額内訳			収納額合計 F=B+C+D+E (円)	達成率 F / A (%)		
			個人 D M (C) (円)	口座振替 (D) (円)	クレジットカード (E) (円)				
地区区分	大津市	33,888,000	11,179,870	3,628,521	999,000	675,000	16,482,391	48.6%	
	彦根市	10,577,000	5,127,522	455,903	189,000	31,000	5,803,425	54.9%	
	長浜市	14,756,500	8,867,461	716,281	255,000	25,000	9,863,742	66.8%	
	近江八幡市	10,042,000	6,477,640	390,289	273,000	10,000	7,150,929	71.2%	
	草津市	6,691,000	4,853,742	520,500	407,000	242,000	6,023,242	90.0%	
	守山市	8,707,000	6,885,117	351,390	34,000	144,284	7,414,791	85.2%	
	栗東市	6,799,000	4,106,267	508,000	48,000	12,000	4,674,267	68.7%	
	甲賀市	12,104,500	9,527,293	487,000	44,000	500,000	10,558,293	87.2%	
	野洲市	5,840,500	4,236,705	351,277	70,000	0	4,657,982	79.8%	
	湖南市	5,959,000	4,176,064	203,000	51,000	13,000	4,443,064	74.6%	
	高島市	6,742,500	4,542,545	276,210	14,000	8,000	4,840,755	71.8%	
	東近江市	14,410,500	16,269,502	241,000	129,000	258,000	16,897,502	117.3%	
	米原市	5,614,500	6,038,806	426,633	61,000	2,000	6,528,439	116.3%	
	市地区計	142,132,000	92,288,534	8,556,004	2,574,000	1,920,284	105,338,822	74.1%	
地区区分	東近江郡	日野町	2,797,500	2,739,215	30,000	0	0	2,769,215	99.0%
		竜王町	1,760,500	1,056,000	0	10,000	0	1,066,000	60.6%
		東近江計	4,558,000	3,795,215	30,000	10,000	0	3,835,215	84.1%
	湖東地区	愛荘町	2,489,000	2,558,949	55,000	22,000	0	2,635,949	105.9%
		豊郷町	951,500	1,027,209	543,000	48,000	0	1,618,209	170.1%
		甲良町	1,093,500	1,074,000	50,000	0	0	1,124,000	102.8%
		多賀町	1,164,000	1,188,000	115,000	0	0	1,303,000	111.9%
	湖東計	5,698,000	5,848,158	763,000	70,000	0	6,681,158	117.3%	
郡地区計	10,256,000	9,643,373	793,000	80,000	0	10,516,373	102.5%		
地区区分計	152,388,000	101,931,907	9,349,004	2,654,000	1,920,284	115,855,195	76.0%		
支 部	17,445,000	246,227,766	144,500	0	0	246,372,266	1412.3%		
支部・地区区分計	169,833,000	348,159,673	9,493,504	2,654,000	1,920,284	362,227,461	213.3%		
個人住民税寄付金 控除対象救援金		0				0			
施設用途 指定寄付金		6,618,196				6,618,196			
合 計	169,833,000	354,777,869	9,493,504	2,654,000	1,920,284	368,845,657	217.2%		

最近5か年の募集目標とその実績



(単位：円)

凡 例	年 度	H27	H28	H29	H30	R1
◆	募 集 目 標 額	169,783,000	169,924,000	170,310,000	169,833,000	169,988,000
	(うち口座振替目標額)	(3,330,000)	(2,930,000)	(3,125,000)	(3,152,000)	(3,153,000)
	(うちクレジット目標額)	(453,000)	(994,000)	(1,185,000)	(681,000)	(835,000)
■	募 集 実 績 額	160,260,844	166,328,125	149,879,044	159,183,313	362,227,461

(上記募集実績額は管内赤十字病院等への使途指定寄付金は除く)

(3) タウンプラス (配達地域指定郵便) を活用した活動資金募集

各地区区分において、市街地を中心に自治会未加入世帯や自治会未結成地域が増加しており、活動資金への協力が得られにくい状況である。これに対して、日本郵便株式会社のタウンプラス (配達地域指定郵便) を活用し活動資金募集およびチラシを配布した。実施内容は以下のとおり。

	送付件数	応諾数	応諾率	協力金額
草津市地区	5,972件	15件	0.25%	100,000円

※自治会が未結成のマンション世帯へ送付した。

(4) 法人活動資金募集の実績

ア 法人活動資金の実績

	予 算 額	実 績 額
指定寄付金	5,000,000円	4,995,438円
損金算入限度額特例扱寄付金	8,200,000円	26,121,903円
合 計	13,000,000円	31,117,341円

※指定寄付金として募集した額は、救護資機材等の整備費に充当した。

イ ダイレクトメール (DM) による募集

年2回 (7月・11月) 発送のダイレクトメールにより、法人に対して活動資金の募集を行った。

	発 送 数	応 諾 数	応 諾 率	協力金額
7月 発送分	6,784件	402件	5.9%	7,069,128円
11月 発送分	6,500件	54件	0.8%	1,132,078円
合 計	13,284件	456件	3.4%	8,201,206円

【発送条件】

7月発送分：支部保有法人データ全件

①帝国データバンクから購入した売上高5千万円以上の法人

②草津市・旧志賀町の法人

11月発送分：7月にDMを発送した法人のうち、未応諾の法人

ウ 訪問による募集

支部職員、地区分区事務職員、奉仕団員が法人を訪問し、活動資金の募集を行った。

	訪問数	応諾数	応諾率	協力金額
17 地区分区	2,098件	1,753件	83.6%	8,129,471円

エ 法人会員向けステッカーの作成

活動資金として2,000円以上のご寄付があった法人を対象に、日本赤十字社を支援していただいている事実を表すために、法人会員向けステッカーを配布した。

(5) 企業・団体等とのパートナーシップ構築の推進

企業・団体に対して、CSRの一環として募金箱や寄付金つき自動販売機の設置依頼や赤十字支援マークの使用などを通じた赤十字への支援を推進した。

ア 募金箱による協力

設置数 18か所（内、新規4か所）

金額 112,767円

イ 寄付金つき自動販売機による協力

設置数 23か所（内、新規11か所）

金額 1,462,959円

ウ 赤十字支援マークの使用

5法人（内、新規2法人）

エ 寄付付き商品プログラムによる協力

(株) オンワードパーソナルスタイル

金額 117,510円

(6) 支部会員管理システムによる適正な寄付者情報の管理と活用

平成29年度に社員制度が改正され、2,000円以上ご協力いただいた会員の管理を適正に行うこととなったため、昨年6月1日から新たな会員管理システムを運用している。

新会員管理システムの運用により、活動資金、災害義援金・海外救援金および海外たすけあいの寄付者情報を一元的に管理できるため、年2回（4、7月）の会員への情報提供や有功章等の各種表彰などの業務を効率的に行えるようになった。

また、上記の寄付者情報をもとに、ダイレクトメールなどによる効果的な活動資金募集に繋がっている。

(7) 赤十字会員数

会員数 (年額2,000円以上協力者)

(単位：人)

	会員数	増減(前年度比)
個人(人)	4,059	535
法人(法人)	2,372	192
合計(人・法人)	6,431	727

(8) 有功章等受章者数

(単位：人)

	個人	法人	合計
紺綬褒章	0	0	0
厚生労働大臣感謝状	2	0	2
社長感謝状	18	11	29
金色有功章	7	4	11
銀色有功章	12	12	24
支部長表彰状	5	9	14
特別社員章	260	0	260

5 災害救護活動

日本赤十字社は、災害対策基本法により「指定公共機関」として位置づけられ、災害救助法により国及び都道府県に対する救助への協力義務が規定されている。

また、滋賀県支部は、滋賀県と「災害時の医療救護活動に関する協定書」を締結しており、医療、助産、死体の処理に関する事項を実施することとなっている。

令和元年度は新型コロナウイルスが国内で確認され、滋賀県支部においても医療職員等の派遣など積極的に活動を実施した。このほか、救護班要員等の研修・訓練を行うなど救護員の育成に努めた。

(1) 災害救護活動等の実施

新型コロナウイルス感染症にかかる対応

日本赤十字社は、厚生労働省からの要請を受け、横浜港に停泊中のクルーズ船や、同省及び埼玉県からの要請に基づき中国武漢市からのチャーター便による帰国者及びクルーズ船の下船者の一時滞在施設(税務大学校)へ医療職員等を派遣した。滋賀県支部の活動は次のとおり。

ア DMAT(災害医療チーム)の派遣状況(クルーズ船)

派遣施設名	派遣期間	医師
大津赤十字病院	2月13日～29日	1

イ 医療職員等の派遣状況(税務大学校)

派遣施設名	派遣期間	医師	看護師	主事	薬剤師
大津赤十字病院	2月24日～26日	1	2	—	1
長浜赤十字病院	3月3日～5日	2	2	1	1

(2) 災害救援物資及び弔慰金の配分状況

地震、火災、風水害などの自然災害、人為災害時に全壊、全焼、流出の世帯に対し、支部備蓄の救援物資の配布や死亡者に対して弔慰金を配分する。

令和元年度は次のとおり救援物資及び弔慰金の配分を行った。

ア 災害救援物資

物資名	数量	物資名	数量
毛布	50枚	大判タオル	48本
緊急セット	22個	タオル	48本

イ 弔慰金

3件：死者3人 配分額 30,000円

(3) 義援金、海外救援金の受付状況

期間/平成23年3月～令和2年3月

名 称	件数	金額 (円)	送 金 先
東日本大震災義援金	5,015件	1,300,922,531	日本赤十字社本社

期間/平成28年4月～令和2年3月

名 称	件数	金額 (円)	送 金 先
平成28年熊本地震災害義援金	1,695件	175,636,230	日本赤十字社本社

期間/平成29年4月～令和2年3月

名 称	件数	金額 (円)	送 金 先
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	301件	19,080,657	日本赤十字社本社

期間/平成30年4月～令和2年3月

名 称	件数	金額 (円)	送 金 先
平成30年7月豪雨災害義援金	589件	46,057,994	日本赤十字社本社
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	277件	14,775,642	日本赤十字社本社
2019年モザンビークサイクロン救援金	38件	284,459	日本赤十字社本社

期間/平成31年4月～令和2年3月

名 称	件数	金額 (円)	送 金 先
令和元年8月豪雨災害義援金	101件	2,517,801	日本赤十字社本社
京都府京都市伏見区で発生した放火事件に係る被害者義援金	31件	204,768	日本赤十字社京都府支部
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	126件	5,132,501	日本赤十字社本社
令和元年台風第15号東京都義援金	55件	390,069	日本赤十字社本社
令和元年台風第19号災害義援金	319件	25,219,449	日本赤十字社本社

(4) 支部災害救護倉庫の施設見学

実施日	団体名	参加者(人)
5月22日	長浜市びわ赤十字奉仕団	59
6月18日	長浜市湖北赤十字奉仕団	40
2月7日	大津市赤十字奉仕団	19
2月20日	東近江市八日市赤十字奉仕団平田分団	19

(5) 救護資機材の整備

災害対応能力強化のための資機材として、県内医療施設に衛星携帯電話、非常食、トイレセット、エアストレッチャー等を整備した。

また、医療セット（薬品セット）の維持管理にかかる薬品を補充した。

(6) 訓練及び研修

ア 日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練

大規模災害時に必要な医療、保健・衛生等の知識全般と、さまざまな状況に適切に対応できる能力を習得することを目的として実施され、今年度は滋賀県支部が当番で下記のとおり実施した。

【期 日】 6月15日

【会 場】 竜王町総合運動公園（主会場）、竜王町防災センター、
滋賀県赤十字血液センター、日本赤十字社滋賀県支部

【訓練内容】

- 本部とのやりとりや情報収集等の訓練
- 救護班職種別訓練
- 遺族対応訓練
- 避難所訓練
- 巡回診療訓練
- 赤十字防災ボランティアセンター運営訓練

【参加者数】（総数485人）

- 救護班要員…………… 15施設 107人
- 赤十字ボランティア等…………… 15団体 139人
- 看護学生…………… 2施設 71人
- 訓練運営スタッフ…………… 108人
- 来賓等……………60人

イ 滋賀県総合防災訓練

9月1日、高島地域で実施され滋賀県支部では「現地災害対策本部設置及び現地合同本部連絡会議運営訓練」、「避難所救護所設置訓練」、「災害ボランティアセンター非常態勢移行・機動運営訓練」、赤十字奉仕団員による炊き出しなどの訓練に参加した。

【参加者数】

- 救護班要員等……………10人
(滋賀県支部3人、大津赤十字志賀病院7人)
- 滋賀県防災支援赤十字奉仕団員…………… 3人
- 地域赤十字奉仕団員……………25人

ウ 大津市総合防災訓練

9月15日、大津市立藤尾小学校において実施され、滋賀県支部では避難所救護所訓練、災害ボランティアセンター設置運営訓練、災害時炊き出し訓練に参加した。

【参加者数】

救護班要員等…………… 8人
(滋賀県支部1人、大津赤十字病院7人)
防災支援赤十字奉仕団員・無線赤十字奉仕団員……………14人
地域赤十字奉仕団員……………11人

エ 東近江市総合防災訓練

9月8日、東近江市永源寺運動公園、鈴鹿の里コミュニティーセンターほかで実施され、滋賀県支部では避難所開設運営訓練、こころのケア講座、災害時炊き出し訓練に参加した。

【参加者数】

救護班要員等…………… 8人
(滋賀県支部1人、大津赤十字病院7人)
こころのケア指導者(大津赤十字看護専門学校)…………… 1人
防災支援赤十字奉仕団員・無線赤十字奉仕団員…………… 5人
地域赤十字奉仕団員……………50人

オ 救護員としての赤十字看護師研修(合同災害救護演習)

実施日 11月1日
場 所 大津赤十字病院外来棟8階会議室
参加者 大津・大津志賀・長浜各赤十字病院の看護師……………42人
指導者 支部及び管内施設職員スタッフ……………12人

カ 救護班主事研修

実施日 8月29日
場 所 滋賀県危機管理センター 第1会議室
参加者 県内医療施設の事務職員・医療技術職員……………19人
指導者 支部及び管内施設職員スタッフ…………… 6人

キ 日本赤十字社本社主催の災害救護関係研修会への参加

① 全国赤十字救護班研修

日本赤十字社では、災害の超急性期を含めた日赤救護班の初期活動の強化と技術の向上を目的として平成21年度から救護班研修を開催しており、滋賀県から研修参加及び指導スタッフとして下記の者が参加した。

参加者 4人(長浜赤十字病院)
指導スタッフ 7人(大津赤十字病院3人、長浜赤十字病院4人)

② 災害医療コーディネート研修

災害医療におけるコーディネーションのための知識習得、コーディネート活動に対する考え方の共通認識などを目的に研修会が年2回実施されており、滋賀県からは下記のとおり参加があった。

参加者 3人（大津赤十字病院2人、長浜赤十字病院1人）
 指導スタッフ 3人（大津赤十字病院1人、長浜赤十字病院2人）
 ※指導スタッフは延べ人数

③こころのケア指導者養成研修

災害時におけるこころのケア活動は、救護活動における重要な柱のひとつであり、その要員を養成する「こころのケア研修」の指導者を養成することを目的として実施されており、滋賀県からは長浜赤十字病院から1人の参加者があった。

ク こころのケア研修

被災者及び救援者である救護員へのこころのケアの重要性について理解を深めるとともに、救護員自身のこころのケアに関する対処方法を取得することを目的として実施した。

	大津赤十字病院	長浜赤十字病院
実施日	6月27日・7月2日	7月27日
修了者人数	32人	22人
指導スタッフ	5人	6人

(7) 救護員の登録状況

常備救護班は医師を班長として1人、看護師長1人、看護師2人、主事1人、自動車操作要員1人の計6人をもって1班とし、大津赤十字病院に4個班、大津赤十字志賀病院に1個班、長浜赤十字病院に3個班を常備編成している。

(8) 救護資材整備状況及び救援物資備蓄状況

ア 救護資機材整備状況

品名	保有数	品名	保有数
災害救護車	2	業務用無線基地局	2
災害用通信指令車	2	車載型業務用無線機	15
救護所用大型テント	2	携帯型業務用無線機	25
救護所用テント空調装置	2	車載型衛星電話	1
天幕(3.6m×5.4m)	6	衛星携帯電話	3
エアーテント(大・小)	2	病院前除染設備一式	2
ワンタッチテント	7	医療セット一式	8
担架	24	移動式炊飯器	2
担架架台	5	救護員用雨具	60
折り畳み寝台	31	救護員用防寒具	60
発電機	4	救護員用寝袋	18

イ 災害救援物資の備蓄状況

品名	保有数	品名	保有数
毛布	9,608	大判タオル	626
緊急セット	1,165	タオル	1,266
安眠セット	390	タオルケット	1,200

6 臨時救護

集会、競技、祭典などの多数の人達が集まる場所へ救護員を派遣し、不慮の事故、傷病者の救護にあたったもので、令和元年度の実施状況は次のとおりである。

滋賀県障害者スポーツ大会（県大会）

競技名	開催日	場所	派遣者	取扱い患者数
アーチェリー	5月19日	県立障害者福祉センター	看護師1人	0人
フライングディスク	6月2日	水口スポーツの森	看護師1人	0人
滋賀県スペシャルスポーツカーニバル	7月6日	長浜バイオ大学ドーム	医師1人 看護師1人	4人
グランドゴルフ	7月20日	長浜バイオ大学ドーム	看護師1人	1人
水泳	8月25日	県立障害者福祉センター	看護師1人	1人
陸上	9月29日	布引運動公園陸上競技場	荒天により中止	
卓球	11月3日	草津市総合体育館	看護師1人	2人
バレーボール	11月9日	県立障害者福祉センター	看護師1人	0人
バスケットボール ソフトボール	11月10日	守山市民運動公園体育館	看護師1人	1人
サッカー	11月10日	守山市ビッグレイク	看護師1人	2人

7 赤十字救急法・健康生活支援講習等の講習普及

(1) 救急法

日常生活などで不慮の事故にあったときの応急手当や救命手当を教え、傷病者の状態を悪化させないようにして、医師などに引き渡すまでの知識と技術を誰にでもできるように赤十字奉仕団、一般住民、学校・会社・福祉施設の職員、PTA等を対象に行った。令和元年度の実施状況は次のとおりである。

区分	実施回数	受講人数	
一般普及講習	基礎講習	13回	337人
	救急員養成	11回	280人
短期講習	147回	4,639人	

(2) 健康生活支援講習

健やかな高齢期を過ごすための健康維持・増進の思想と、高齢者の自立をめざした介護の方法を指導するもので、赤十字奉仕団、一般住民、会社・福祉施設の職員、高校生等を対象に行った。令和元年度の実施状況は次のとおりである。

区分	実施回数	受講人数
一般普及講習支援員養成	2回	56人
短期講習	37回	236人

(3) 幼児安全法

子供を社会の財産として大切に育てるため、子供に起こりやすい事故に対する応急手当の方法と事故防止、家庭内での看病の方法を中心として赤十字奉仕団、一般住民、保育園・幼稚園の職員、福祉施設の職員等を対象に行った。令和元年度の実施状況は次のとおりである。

区 分	実施回数	受講人数
一般普及講習支援員養成	3回	69人
短期講習	24回	509人

(4) 水上安全法

受講応募者僅少のため、やむなく水上安全法救助員Ⅰ、Ⅱ養成講習は中止とした。

区 分	実施回数	受講人数
一般普及講習	救助員養成Ⅰ	0回
	救助員養成Ⅱ	0回
短期講習	24回	1,528人

(5) 講習指導員の養成

ア 救急法指導員養成講習

赤十字の理念と使命を理解し、十分な知識と技術をもった指導力のある実働的な指導員を養成するため開催した。実施状況は次のとおりである。新型コロナウイルス感染症の感染予防のため新任研修は延期とした。

講習内容	開催日時	受講人数
救急法指導員養成講習説明会	11月28日	32人
救急法指導員養成講習事前研修会	12月6日	28人
救急法指導員養成講習本研修	1月23日・24日・25日・31日 ・2月1日	26人
救急法指導員養成講習新任研修会	延 期	

イ 水上安全法指導員養成講習

赤十字の理念と使命を理解し、水の安全、事故防止の思想を広く県内に普及・啓発できるよう、水上安全法に関する十分な知識と技術をもった指導力のある実働的な指導員を養成するため近畿府県支部合同で開催した。実施状況は次のとおりである。

講習内容	開催日時	受講人数
水上安全法指導員養成講習説明会	8月3日	各支部ごとに開催 滋賀県支部0人
水上安全法指導員養成講習事前研修会	8月4日	4人
水上安全法指導員養成講習本研修	9月14日・15日 ・21日・22日	4人
水上安全法指導員養成講習新任研修会	11月16日・17日	3人

ウ 幼児安全法指導員養成講習

赤十字の理念と使命を理解し、社会全体で子どもを育てていくため、子どもの事故防止、応急手当の方法、災害時に役立つ知識や技術等広く県内に普及・啓発できるように、幼児安全法に関する十分な知識と技術をもった指導力のある実働的な指導員を養成するために開催した。実施状況は次のとおりである。新型コロナウイルス感染症の感染予防のため新任研修は延期とした。

講習内容	開催日時	受講人数
幼児安全法指導員養成講習事前研修会	12月13日	8人
幼児安全法指導員養成講習本研修	1月15日～19日	8人
幼児安全法指導員養成講習新任研修会	延期	

(6) 講習指導員の研修

滋賀県支部に所属する講習指導員に対し、技能維持や指導内容の統一等を目的に講習指導員研修を行った。令和元年度の実施状況は次のとおりである。

ア 救急法・水上安全法指導員研修

実施日	会場	対象指導員	参加人数
6月8日	皇子山公園体育館	救急法	56人
6月8日	皇子山公園体育館	水上安全法	6人
7月6日	立命館大学びわこ・くさつキャンパス	水上安全法	11人

(7) 各種講習指導員数

講習種別	ボランティア	職員	総数
救急法	97人	53人	150人
水上安全法	22人	2人	24人
健康生活支援講習	12人	25人	37人
幼児安全法	19人	23人	42人

(8) 赤十字講習普及推進サポーター事業

日本赤十字社滋賀県支部が実施する各赤十字講習の円滑かつ効率的な推進を図るため、講習依頼者とボランティア指導員とのマッチングその他必要な業務を行うサポーター制度により、救急法ボランティア指導員2人に委嘱した。10回にわたりサポーター会議を開催し、講習指導員の派遣調整等を行い、指導の少ない指導員の活性化も図った。

(9) 防災教育の普及

近年の防災意識や救急法などの赤十字講習に対する関心の高まりをうけて日本赤十字社滋賀県支部では、地震や風水害などの自然災害に正しい知識や災害時の備え等について、赤十字のノウハウを活用した防災教育事業を地域自治会・赤十字奉仕団等に対して実施した。

期 日	申 込 団 体	講 習 ・ 研 修 内 容	参 加 人 数 (人)
5月22日	大津市赤十字奉仕団	日本赤十字社の災害救護活動について	125
5月25日	守山市赤十字奉仕団吉身分団	災害時の備えについて	30
6月8日	東近江市危機防災課	HUG	30
6月19日	近江八幡市赤十字奉仕団武佐分団	災害時の備えについて	20
6月26日	東近江市八日市赤十字奉仕団中野分団	災害時の備えについて	40
6月29日	滋賀県こども会連合会	親子でおぼえる防災について	60
7月4日	東近江市立五個荘中学校	ハイゼックスによる炊き出し、搬送、応用包帯等	98
7月6日	近江八幡市安土赤十字奉仕団	災害時の備えについて	70
7月14日	青山学区自主防災会	災害がおこった場合の避難について	58
7月20日	東近江市蒲生赤十字奉仕団	災害時の備えについて、応急手当等	30
7月24日	滋賀県立八日市養護学校	HUG	60
8月2日	東近江市八日市赤十字奉仕団御園分団	災害発生時の対応等	40
8月24日	草津市赤十字奉仕団常盤分団	風水害への備え	30
9月4日	東近江市八日市赤十字奉仕団	災害への備え、防災グッズづくり	20
9月8日	竜王町赤十字奉仕団	防災学習の必要性と備え	77
9月28日	子ども観光大使IN近江八幡実行委員会	ハイゼックスを使った非常食づくり	20
9月29日	東近江市鈴町自治会	非常持ち出し品の紹介等	100
10月11日	滋賀県立八幡高等学校	自然災害発生時における避難時の行動について	908
10月16日	大津市医師会	防災学習など	50
10月27日	草津市赤十字奉仕団常盤分団	防災についてのPR、グッズ紹介	120
10月27日	長浜市民国際交流協会	身近なものをを用いた応急手当	100
11月2日	近江八幡市安土赤十字奉仕団	身近なものをを用いた応急手当など	124
12月1日	子ども会連合会	炊き出し支援	80
12月5日	草津市赤十字奉仕団	災害への備え	80
12月8日	大津市社会福祉協議会	災害への備え	35
12月14日	近江八幡市赤十字奉仕団八幡分団	災害への備え	10
12月16日	大津市赤十字奉仕団	災害への備え	19
1月16日	近江八幡市赤十字奉仕団篠原分団	災害への備え	50
1月21日	東近江市八日市赤十字奉仕団	災害への備え	30
1月26日	大津赤十字奉仕団田上分団	災害への備え	60

(10) 滋賀県安全法指導員協議会

救急法・水上安全法の指導員の資格を有する者をもって会員とし、講習普及や人命尊重と苦痛の軽減に寄与することを目的に結成されており、支部の講習計画に基づき、県内の講習普及に努めている。

救急法指導員 150人、水上安全法指導員24人 計166人（重複8人）

区 分	期 日	出席者	内 容
第1回役員会	5月9日	8人	1 平成30年度事業報告、収支決算 2 令和元年度事業計画、収支予算 3 赤十字講習普及推進サポーターについて 4 赤十字救急法等指導員伝達研修、指導員実践力向上研修について
総 会	6月8日	58人	1 平成30年度事業報告、収支決算 2 令和元年度事業計画、収支予算 3 赤十字講習普及推進サポーターについて 4 指導員実践力向上研修について 5 研修会 救急法手技実技確認 水上安全法救助員養成講習指導方針、手技確認
第2回役員会	12月20日	7人	1 令和元年度事業実施状況について 2 講習実施状況と指導員派遣状況について 3 赤十字講習普及推進サポーター事業について 4 令和2年度事業計画について 5 救急法・水上安全法、指導員研修について

8 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、市町の地域毎につくられる地域奉仕団と社会人や学生などによって組織された青年奉仕団、また特殊技能者が集まった特殊奉仕団がある。

赤十字奉仕団は、赤十字思想の普及や災害救護など、赤十字事業の推進にあたりとともに、地域の状況に応じた福祉活動など幅広い活動を展開している。

(1) 設団状況

ア 地域奉仕団

地域別	団数(団)	分団または班数	団 員 数 (人)		
			男	女	計
市	43	555	725	12,693	13,418
町	7	85	85	1,605	1,690
計	50	640	810	14,298	15,108

イ 青年奉仕団

名 称	団 員 数 (人)		
	男	女	計
滋賀県青年赤十字奉仕団はなまる	1	3	4
大津赤十字看護専門学校学生奉仕団めだか	8	95	103
計	9	98	107

ウ 特殊奉仕団

名 称	団 員 数 (人)		
	男	女	計
滋賀県無線赤十字奉仕団	14	1	15
滋賀県青少年赤十字賛助奉仕団	79	20	99
滋賀県防災支援赤十字奉仕団	34	19	53
計	127	40	167

(2) 地域赤十字奉仕団の活動

ア 赤十字奉仕団滋賀県支部委員会

開催日	出席者数	会 場	内 容
10月30日	県支部委員16人 指導講師 4人	滋賀県支部 会議室	1 令和元年度赤十字奉仕団員研修旅行の反省について 2 令和2年度赤十字奉仕団員研修旅行について 3 その他 • 赤十字奉仕団男性団員交流研修会について • 事業資金(団費)納入状況について
1月22日	県支部委員15人 指導講師 5人	滋賀県支部 会議室	1 令和元年度事業の実施状況および決算見込みについて 2 令和2年度事業計画(案)および予算(案)について 3 赤十字奉仕団結成70周年記念滋賀県赤十字大会について 4 赤十字奉仕団委員長研修旅行(研修旅行下見)について 5 斡旋物資(ハンカチ・手ぬぐい)の取扱い中止について

イ 赤十字奉仕団滋賀県支部常任委員会

開催日	参加者数	会 場	内 容
7月30日	常任委員8人 指導講師4人	滋賀県支部 会議室	1 平成31年度赤十字奉仕団委員長会議・研修会について 2 令和元年度赤十字奉仕団男性団員交流研修会について 3 令和2年度赤十字奉仕団員研修旅行企画書について 4 その他 • 令和元年度赤十字奉仕団員研修旅行について • 日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練アンケート結果について

12月10日	常任委員 9 人 指導講師 4 人	滋賀県支部 会議室	1 令和元年度赤十字奉仕団男性団員交流研修会について 2 令和元年度事業の実施状況について 3 令和2年度事業計画（案）について 4 その他 • 幹旋物資の取扱いについて • 役員改選について
3月10日	常任委員 9 人 指導講師 5 人	文書審議に よる開催	1 令和2年度赤十字奉仕団基本目標（案）について 2 地域赤十字奉仕団の増強に関する検討部会の 結果について 3 赤十字奉仕団幹旋物資について（報告事項）

ウ 地域赤十字奉仕団の増強に関する検討部会

団員の減少が著しい中、各団において団員増強に取り組む際の検討項目や具体的な
取り組み内容などを提示することを目的に、令和元年7月に「地域赤十字奉仕団の増強
に関する検討部会」を設置した。

開催日	出席者数	会 場	内 容
7月30日	常任委員 8 人 指導講師 4 人	滋賀県支部 会議室	1 検討部会における目標（案） 2 スケジュール（案） 3 検討項目（案）
10月30日	常任委員 9 人 指導講師 4 人	滋賀県支部 会議室	1 ふりかえり 2 方策検討 ア 団員増強の目的とアピールポイントの明確化 イ 活動内容・団員増強について話し合う場の設置
1月22日	常任委員 8 人 指導講師 5 人	滋賀県支部 会議室	1 基本方針の策定について 2 支部統一の団員増強運動の具体的な進め方について

エ 赤十字奉仕団委員長会議・研修会

開催日	出席者数	会 場	内 容
4月17日 ～18日	奉仕団委員長49人 指導講師 5 人	ピアザ淡海 (県立県民交 流センター) ホテルピアザ びわ湖	1 基本目標と奉仕団活動 2 奉仕団活動の必要性 3 赤十字奉仕団の強化に向けて 4 活動報告 (1) 一声ふれあい運動推進事業 (2) 団員増強に関する事例発表 5 グループワーク テーマ:「奉仕団員の増強に向けての取り組み」 6 日本赤十字社の組織と活動資金の募集につい て 7 日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練 への参加について 8 奉仕団事務取扱い・旅行日程調整

オ 赤十字奉仕団男性団員交流研修会

開催日	参加者数	会場	内容
11月15日	男性団員54人 常任委員・ 指導講師13人	コラボしが21	1 赤十字奉仕団活動の必要性について 2 日本赤十字社の活動と活動資金について 3 災害と地域における対策について 4 分散会 テーマ：災害から地域を守るために私たちが ができること

カ 赤十字奉仕団員研修旅行

実施日	参加者	宿泊地	研修テーマ・訪問施設
8月22日 ～ 9月30日	奉仕団員 1,993人	長野県 諏訪市	【近代日本の発展に寄与した女性(工女)たちの群像 琵琶湖周航の歌100周年 作詞の小口太郎生誕120周年 生誕の地「岡谷」で地元保存会と歌で交流】 ・岡谷カノラホール ・シルクファクト岡谷 ・諏訪大社

キ 赤十字奉仕団中央委員会

開催日	参加者	会場	内容
5月30日 ～31日	県委員長	日本赤十字社本社	<ul style="list-style-type: none"> 中央委員会常任委員改選 各ブロック赤十字奉仕団委員長会議等の報告 平成31年度日本赤十字社事業計画(基本方針) 長期ビジョンについて 講演「地域共生社会の実現に向けた地域づくり」 地域共生社会の実現に向けた地域づくり 「きけんはっけん！」を活用した防災活動 日本赤十字社の活動資金 分科会 テーマ：幸せな地域づくりのための奉仕団活動 「支えあい、見守り、つなげる」赤十字奉仕団の役割と活動を考える

ク 赤十字奉仕団一日研修会

奉仕団員の意識を高揚し、真の奉仕者組織としての健全な奉仕団の育成を期するため、今年度も15郡市地区が、それぞれの主催で一日研修会を開催し、団活動についての講演、DVD上映、事例発表等を行った。

地区別	開催日	人数(人)	地区別	開催日	人数(人)
大津市	10月23日	140	彦根市	11月13日	109
長浜市	11月11日	383	近江八幡市	12月8日	315
草津市	12月5日	82	守山市	10月18日	214
栗東市	7月16日	100	甲賀市	7月9日	189
野洲市	10月5日	120	湖南市	9月11日	105
高島市	6月28日	202	東近江市	11月28日	456
米原市	10月26日	90	東近江	11月7日	113
湖東	11月12日	119			

ケ 赤十字奉仕団広報紙の発行

発行日	発行号	発行部数(部)
10月15日	第58号	20,000
3月15日	第59号	20,200

コ 一声ふれあい運動推進事業の推進

地域の在宅高齢者等への訪問活動(声かけ運動)を行い、地域の人々とのふれあいを深めながら、住みよい町づくりをめざす一声ふれあい運動を一層推進するため、2団を推進奉仕団として指定し、助成を行った。

実施期間	奉仕団名	交付額(円)
平成30年5月1日 ～令和2年3月31日	高島市マキノ	25,000
	日野町	25,000
合計		50,000

(3) 青年赤十字奉仕団の活動

事業名	開催日	参加人員	場所
平成30年度青年赤十字奉仕団 第4ブロック協議会 第3回役員会	4月14日	1人	大阪府支部
第1回滋賀県赤十字奉仕団 (青年・無線・防災支援) 合同研修会	4月14日	1人	滋賀県危機管理センター
第1回連絡協議会	5月22日	7人	滋賀県支部
青年赤十字奉仕団第4ブロック協議会 代表者会議	5月26日	4人	大阪府支部
青年赤十字奉仕団第4ブロック合同防災研修	5月26日	2人	大阪市立阿倍野防災センター
令和元年度青年赤十字奉仕団 第4ブロック協議会 第1回役員会	9月21日	1人	大阪府支部
第2回連絡協議会	10月9日	7人	滋賀県支部
第2回滋賀県赤十字奉仕団 (青年・無線・防災支援) 合同研修会	10月19日 ～20日	1人	鈴鹿の里コミュニティーセンター
青年赤十字奉仕団第4ブロック協議会 リーダー養成研修会	11月23日 ～24日	5人	奈良県 社会教育センター
海外たすけあい街頭募金	12月7日	9人	石山駅
「はたちの献血」キャンペーン	1月13日	8人	イオンモール草津
令和元年度青年赤十字奉仕団 第4ブロック協議会 第2回役員会	2月16日	1人 (支部職員)	大阪府支部

(4) 滋賀県無線赤十字奉仕団の活動

令和元年度においては、第4ブロック合同災害救護訓練への運営協力、防災学習の指導、各種訓練や研修会への参加など充実した活動を展開した。

主な活動については、下表のとおり。

事業名	開催日	参加人員	場所
定期総会	4月4日	4人	滋賀県支部会議室
赤十字無線救護奉仕団第4ブロック連絡協議会	4月13日	1人	大阪府支部
第1回滋賀県赤十字奉仕団合同研修会	4月14日	3人	危機管理センター
第4ブロック合同災害救護訓練打ち合わせ	5月10日	3人	滋賀県支部会議室
第4ブロック合同災害救護訓練打ち合わせ	5月31日	3人	滋賀県支部会議室
第4ブロック合同災害救護訓練事前準備	6月14日	3人	滋賀県支部会議室
第4ブロック合同災害救護訓練	6月15日	2人	竜王町防災センターほか
近江八幡市赤十字奉仕団武佐分団防災学習	6月19日	1人	武佐コミュニティーセンター
東近江市立五個荘中学校防災学習	7月4日	2人	五個荘中学校
近江八幡市安土赤十字奉仕団防災学習	7月6日	1人	老蘇コミュニティーセンター
東近江市蒲生赤十字奉仕団防災学習	7月20日	1人	蒲生コミュニティーセンター
滋賀県立八日市養護学校防災学習	7月24日	2人	八日市養護学校
東近江市八日市赤十字奉仕団御園分団防災学習	8月2日	1人	御園コミュニティーセンター
東近江市八日市赤十字奉仕団防災学習	9月4日	1人	ハートピア八日市
赤十字防災講座への参加	9月5日	1人	危機管理センター
東近江市総合防災訓練	9月8日	1人	鈴鹿の里コミュニティーセンター
竜王町赤十字奉仕団防災学習	9月8日	1人	竜王町防災センター
大津市総合防災訓練	9月17日	3人	大津市立藤尾小学校
子ども観光大使IN近江八幡防災学習	9月28日	2人	休暇村近江八幡
第2回赤十字奉仕団研修会	10月19日 ・20日	2人	鈴鹿の里コミュニティーセンター
長浜市民国際交流協会イベントへの参加	10月27日	2人	神照まちづくりセンター
近江八幡市安土赤十字奉仕団防災学習	11月2日	3人	あづちマリエート
大津赤十字病院災害時傷病者受入訓練	11月9日	2人	大津赤十字病院
滋賀県中小企業連絡協議会防災学習	11月23日	2人	浜大津港
滋賀県子ども会連合会防災学習	12月1日	1人	大津市民会館

※令和2年2月・3月に予定されていた関係事業については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

(5) 滋賀県青少年赤十字賛助奉仕団の活動

ア 滋賀県青少年赤十字賛助奉仕団役員会

開催日	参加者数	会場	内容
6月21日	7人	日本赤十字社滋賀県支部 会議室	<p>【協議事項】 平成30年度事業報告並びに収支決算について 令和元年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について 役員改選について 第28回第4（近畿）ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会について</p> <p>【報告事項】 平成30年度及び令和元年度における入団者及び退団者等の数について 滋賀県青少年赤十字指導者協議会関係の報告について</p>

イ 滋賀県青少年赤十字賛助奉仕団総会

開催日	参加者数	会場	内容
6月21日	9人	日本赤十字社滋賀県支部 会議室	<p>【協議事項】 平成30年度事業報告並びに収支決算について 令和元年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について 役員改選について 第28回第4（近畿）ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会について</p> <p>【報告事項】 平成30年度及び令和元年度における入団者及び退団者等の数について 滋賀県青少年赤十字指導者協議会関係の報告について</p>

ウ 近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会

開催日	出席者数	会場	内容
10月16～17日	5人	クレフィール湖東	青少年赤十字と賛助奉仕団の連携・取り組み、賛助奉仕団の課題とその対策等について

エ 広報委員会

開催日	出席者数	会場	内容
4月23日	6人	日赤滋賀県支部会議室	賛助奉仕団しが第31号編集発行について
6月3日	7人	日赤滋賀県支部会議室	賛助奉仕団しが第31号原稿の校正について
10月3日	7人	日赤滋賀県支部会議室	賛助奉仕団しが第32号編集発行について
11月22日	6人	日赤滋賀県支部会議室	賛助奉仕団しが第32号原稿の校正について

オ 活動推進委員会

開催日	出席者数	会 場	内 容
1月20日	5人	日赤滋賀県支部会議室	賛助奉仕団の活性化等について

カ その他の会議、行事参加

開催日	出席者数	会 場	事 業
7月8日 ～10日	1人	日本赤十字社本社	令和元年度全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会第1回役員会並びに総会
11月1日	5人	長浜市立余呉小中学校	JRC研究推進委嘱校研究発表会への参加

キ 滋賀県青少年赤十字賛助奉仕団広報紙「JRC賛助奉仕団しが」の発行

発行日	号数	部数(部)	内 容
6月21日	第31号	400	令和元年度滋賀県青少年赤十字賛助奉仕団事業計画、第43回滋賀県青少年赤十字研究推進委嘱校研究発表会案内等
12月20日	第32号	400	第43回滋賀県青少年赤十字研究推進委嘱校研究発表会、第28回第4(近畿)ブロック交流研修会参加報告等

(6) 滋賀県防災支援赤十字奉仕団の活動

令和元年度においては、第4ブロック合同災害救護訓練への運営協力、防災学習の指導、各種訓練や研修会への参加など充実した活動を展開した。また、赤十字防災ボランティアセンター立ち上げ時のアクションカードの作成にかかる企画等についても積極的な協力を得た。

主な活動については、下表のとおり。

事 業 名	開催日	参加人員	場 所
定期総会	4月14日	17人	滋賀県支部会議室
第1回赤十字奉仕団研修会	4月14日	18人	滋賀県危機管理センター
第4ブロック救護員指導者協議会への出席	4月25日	2人	滋賀県危機管理センター
守山市赤十字奉仕団吉身分団防災学習	5月25日	1人	吉身公民館
東近江市防災リーダー講座(HUGの指導)	6月8日	5人	東近江市役所
第4ブロック合同災害救護訓練事前準備	6月14日	16人	滋賀県支部会議室ほか
第4ブロック合同災害救護訓練	6月15日	12人	竜王町防災センターほか
近江八幡市赤十字奉仕団武佐分団防災学習	6月19日	1人	武佐コミュニティーセンター
東近江市八日市赤十字奉仕団中野分団防災学習	6月26日	1人	中野コミュニティーセンター
滋賀県子ども会連合会防災学習	6月29日	1人	蒲生コミュニティーセンター
東近江市立五個荘中学校防災学習	7月4日	5人	五個荘中学校
近江八幡市安土赤十字奉仕団防災学習	7月6日	2人	老蘇コミュニティーセンター
大津市上田上学区自主防災会防災学習	7月14日	1人	桐生自治会館
東近江市蒲生赤十字奉仕団防災学習	7月20日	1人	蒲生コミュニティーセンター
滋賀県立八日市養護学校防災学習	7月24日	6人	八日市養護学校

東近江市八日市赤十字奉仕団御園分団防災学習	8月2日	1人	御園コミュニティーセンター
防災教育事業指導者養成講習会	8月3日 ・4日	12人	大阪府支部 (指導スタッフ1人を含む)
草津市赤十字奉仕団常盤分団防災学習	8月24日	3人	常盤コミュニティーセンター
赤十字ボランティア・リーダー研修会	8月24日 ～26日	1人	オリンピック記念青少年総合センター
滋賀県総合防災訓練	9月1日	3人	危機管理センター
東近江市八日市赤十字奉仕団防災学習	9月4日	2人	ハートピア八日市
東近江市総合防災訓練	9月8日	4人	鈴鹿の里コミュニティーセンター
竜王町赤十字奉仕団防災学習	9月8日	4人	竜王町防災センター
第4ブロック救護員指導者協議会への出席	9月10日	1人	滋賀県危機管理センター
大津市総合防災訓練	9月17日	11人	大津市立藤尾小学校
子ども観光大使IN近江八幡防災学習	9月28日	3人	休暇村近江八幡
東近江市鈴町自治会防災学習	9月29日	3人	鈴町公民館
滋賀県立八幡高等学校防災学習	10月11日	4人	八幡高等学校
第2回赤十字奉仕団研修会	10月19日 ・20日	15人	鈴鹿の里コミュニティーセンター
草津市赤十字奉仕団常盤分団防災学習	10月27日	1人	常盤コミュニティーセンター
長浜市民国際交流協会イベントへの参加	10月27日	5人	神照まちづくりセンター
近江八幡市安土赤十字奉仕団防災学習	11月2日	8人	あづちマリエート
大津赤十字病院災害時傷病者受入訓練	11月9日	8人	大津赤十字病院
赤十字体験バスツアーへの協力	11月20日	1人	滋賀県支部会議室
滋賀県中小企業連絡協議会防災学習	11月23日	14人	浜大津港
滋賀県子ども会連合会防災学習	12月1日	2人	大津市民会館
草津市赤十字奉仕団防災学習	12月5日	4人	草津市社会福祉協議会
大津市社会福祉協議会防災学習	12月8日	3人	大津市社会福祉協議会
近江八幡市赤十字奉仕団八幡分団防災学習	12月14日	2人	八幡コミュニティーセンター
大津市赤十字奉仕団防災学習	12月16日	1人	大津市役所
近江八幡市赤十字奉仕団篠原分団防災学習	1月16日	3人	篠原コミュニティーセンター
東近江市八日市赤十字奉仕団防災学習	1月21日	3人	八日市コミュニティーホール
大津市赤十字奉仕団田上分団防災学習	1月26日	3人	田上市民センター
第4ブロック救護員指導者協議会への出席	2月12日	1人	奈良県人権センター
赤十字体験バスツアーへの協力	2月17日	1人	滋賀県支部会議室

※上記のほか役員会を7回、ブロック訓練作業部会4回、アクションカード検討部会10回をそれぞれ支部会議室等で開催した。

※令和2年2月21日以降に予定されていた関係事業については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

(7) 個人ボランティア

赤十字事業の推進を目的として、赤十字病院、血液センターなど県内の赤十字施設において、直接その事業に奉仕するボランティアとして、昭和53年4月から登録されている。

施設名	人数	活動内容
大津赤十字病院	47人	総合案内のお手伝いや図書の貸出し、衛生材料の整理、コンサート開催など
大津赤十字志賀病院	22人	音楽会、お誕生日会の開催、お話相手、園芸など
長浜赤十字病院	64人	外来者の受付や案内、入浴介助など
滋賀県赤十字血液センター	102人	献血者への文書発送手伝いなど

(8) 赤十字奉仕団以外のボランティアグループの受入状況

施設名	グループ数	主なグループ名（及びその活動内容）
大津赤十字病院	8	演奏ボランティア「あゆみムジーク」、「アンサンブルY u u」、「下久保 由美子とゆかいな仲間たち」、「グリーンエコー」
大津赤十字志賀病院	2	演奏ボランティア「ナルク」、「どんぐりの会」

9 青少年赤十字

青少年のうちから赤十字の精神を養い、世界各国の青少年と手を結んで健康と安全の増進、国際親善などの行いによって青少年の健全育成を図るため、小・中・高等学校の児童、生徒を対象として学校内で組織されたものが青少年赤十字である。現在世界の赤十字加盟は192カ国で、その多くの加盟国で青少年赤十字が取り入れられている。

(1) 加盟校の状況

区分	校種別	令和元年度	前年度比
園、学校数	幼稚園等	13	2
	小学校	161	4
	中学校	48	1
	義務教育学校	1	0
	高等学校	18	0
	特別支援	1	0
	総数	242	7
学級またはグループ数	幼稚園等	83	20
	小学校	2,294	91
	中学校	697	75
	義務教育学校	6	1
	高等学校	181	△1
	特別支援	55	1
	総数	3,316	187

児童・生徒数 (人)	幼稚園等	1,856	397
	小学校	53,978	766
	中学校	20,458	1,353
	義務教育学校	95	△ 58
	高等学校	5,888	△ 19
	特別支援	362	△ 1
	総数	82,637	2,438

(2) 青少年赤十字指導者協議会郡市支部長会の開催

開催日	会場	出席者数 (対象者)	協議事項
6月13日	セミナー& カルチャー センター「臨 湖」	7人	【報告事項】 1 平成30年度青少年赤十字事業報告について 【協議事項】 1 令和元年度青少年赤十字事業計画(案)について 2 役員改選(案)について
3月下旬 (文書審議)		18人	【協議事項】 1 令和2年度青少年赤十字主要事業計画(案)について 2 青少年赤十字メンバー・加盟校応援プロジェクトについて

(3) 本社及びブロック主催の講習会、研修会開催状況

区分	主催	開催日	開催場所	参加者
第59回青少年赤十字 近畿ブロック指導者研修会	日本赤十字社 大阪府支部	6月15日 ～16日	日本赤十字社 大阪府支部 (大阪府)	県内参加者3人 (全参加者20人)
指導主事対象青少年赤十字 研究会	日本赤十字社 本社	1月9日	日本赤十字社 本社	県内参加者1人 (全参加者57名)

(4) 支部主催のトレーニングセンター開催状況

区分	開催日	開催場所	参加者
メンバー・トレーニングセ ンター指導者事前打ち合わせ会	7月22日	滋賀県支部会議室	会長、顧問1人 ・県指導員3人
リーダーシップ・ トレーニングセンター	8月6日 ～8日	森の未来館 (栗東市)	参加メンバー
			小学校メンバー 16人 中学生メンバー 12人 高校メンバー 8人 計 36人
			スタッフ
			指導者 14人 賛助奉仕団員 1人 赤十字奉仕団指導講師 1人 青年奉仕団 2人 支部職員 6人

(5) その他の会議・行事等

区 分	開催日	会 場	出席者数	備 考
指導部役員会	5月17日	滋賀県支部会議室	7人	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度青少年赤十字事業報告 令和元年度青少年赤十字事業計画(案)について 滋賀県青少年赤十字指導者研修会について リーダーシップ・トレーニングセンターについて
滋賀県青少年赤十字指導者協議会第71回定期総会並びに研修会	6月13日	セミナー&カルチャーセンター「臨湖」	25人	<ul style="list-style-type: none"> 加盟校表彰 平成30年度事業報告 令和元年度事業計画(案) 役員改選について 講演 「青少年赤十字と学校教育」 岡崎市立下山小学校 校長 手島 英樹 氏
青少年赤十字全国指導者協議会・総会	6月24日～25日	日本赤十字社本社	1人 (会長)	<ul style="list-style-type: none"> 役員改選 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 青少年赤十字 最近の取り組みと今後の動き 青少年赤十字活動報告 講演 「学校教育と青少年赤十字活動」 文部科学省初等中等教育局 視学官 矢幅 清司 氏 グループディスカッション 「各都道府県におけるJRC活動の工夫や活性化への共有」
滋賀県青少年赤十字指導者研修会	7月3日	長浜市立余呉小中学校	25人	<ul style="list-style-type: none"> 学校で活用できるレクリエーション 草津市立老上西小学校 南原 正和 氏 平成29・30年度滋賀県青少年赤十字研究推進委嘱校の取り組みについて 守山市立小津小学校 大原 利幸 氏

防災学習及び炊き出し実習	7月4日	東近江市立五個荘中学校	105人 (中学1年生)	滋賀県防災支援赤十字奉仕団員5人、五個荘赤十字奉仕団10人、支部職員1人を派遣し、防災に関する指導、炊き出し実習を実施した。
郡市支部主催メンバー・トレーニングセンター	7～8月	各郡市		守山市支部ほか5支部で開催
第4(近畿)ブロック合同青少年赤十字国際交流事業(受入)	9月12日～18日	滋賀県内	63人 (指導者及び支部職員含む)	滋賀県では、滋賀県立国際情報高等学校が国際交流事業推進校として、本事業を主体的に実施した。 <ul style="list-style-type: none"> • 滋賀県受入プログラムの実施(12～14日) マレーシアメンバー2人を受入れ、国際情報高等学校で授業体験を行った他、同校生徒宅でのホームステイを実施した。 • 国際交流集会の実施(14～16日) グループワーク及びフィールドワーク等を実施し、両国の青少年赤十字活動及び文化等を紹介、体験した。
滋賀県青少年赤十字研究推進委嘱校発表大会	11月1日	長浜市立余呉小中学校	63人	平成30・令和元年度の滋賀県青少年赤十字研究推進委嘱を受けた同校が2年間の研究成果を発表した。当日は学校関係者及び赤十字奉仕団員等が出席した。
指導部役員会	12月26日	滋賀県支部会議室	6人	<ul style="list-style-type: none"> • 令和元年度青少年赤十字主要事業報告 • 令和2年度主要事業計画(案) • 青少年赤十字メンバー・加盟校応援プロジェクトについて • 滋賀県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンターについて • JRCしが第25号の編集について • 滋賀県青少年赤十字指導者協議会定期総会について

(6) 青少年赤十字メンバー・加盟校応援プロジェクト事業

青少年赤十字加盟校が行う自主的かつ意欲的な実践活動を支援し、その活動成果を広く普及することにより、青少年赤十字活動の一層の振興を図ることをねらいに実施し、下記のとおり助成を行った。

一般枠

区 分	件 数	助 成 額
幼稚園	1 件	20,000円
小学校	5 件	99,660円
中学校	2 件	60,000円
高等学校	1 件	49,973円
合計	9 件	229,633円

特別枠

区 分	件 数	助 成 額
高等学校	1 件	450,000円
合計	1 件	450,000円

(7) 青少年赤十字機関紙「JRCしが」の発行

滋賀県内の青少年赤十字活動を広く周知するため、JRCしが（No.25）を4月1日に発行し、県内の全小中高等学校等に配布して普及に努めた。

10 看護師の教育

赤十字看護師の教育は、123年の永い歴史と伝統を誇る重要な事業の一つであって、災害救護業務の要員を確保するとともに、医療施設の要員充足をはかり、併せて看護師不足に対応すべく優秀な看護師を社会に送り出すことを目的としている。

大津赤十字看護専門学校は大津市小関町に設置され、1学年養成定員を40人とし、本年度は下記のとおり養成した。

令和元年度の養成人員				令和元年度迄の 養成人員
1 年	2 年	3 年	計	
42人	27人	34人	103人	3,272人

11 国際活動

(1) 「NHK海外たすけあい」キャンペーンの実施

令和元年12月1日から25日の間、令和元年度「NHK海外たすけあい」キャンペーンを本社・支部・赤十字病院・血液センターはもとより、NHK各放送局、全国の郵便局、各金融機関等の協力を得て実施した。また、12月1日に滋賀県共同募金会と共催で西武大津店前にて「NHK歳末・海外たすけあい」街頭募金活動を行い、滋賀県支部からは大津市赤十字奉仕団員、大津赤十字看護専門学校学生、支部職員が参加し、協力の呼び掛けを行った。

本キャンペーンの募金額は下記のとおりであり、この資金をもとに、日本赤十字社が世界各地の紛争や自然災害、病気で苦しむ人々への支援のための国際救援事業や開発協力事業を行った。

実績内訳

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)	
滋賀県	支部・施設等窓口扱い分	1,114	3,354,848
	本社扱い分	359	2,818,235
	合 計	1,473	6,173,083
全 国	支部・施設等窓口扱い分	38,203	87,518,146
	本社扱い分	38,964	569,043,678
	合 計	77,167	656,561,824

(2) 第4 (近畿) ブロック国際人道法普及セミナーへの参加

令和2年2月20日、日本赤十字社大阪府支部で同セミナーが開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大が懸念され、参加者等の安全確保の観点から中止となった。

12 赤十字思想の普及

赤十字の理念や赤十字の活動について県民の理解を深め、一層の協力を得るため、5月の運動月間を始め、年間を通じて広報活動を展開した。

(1) 本社作成の広報資材の配布

名 称	作製目的・主な内容	主な配布 (視聴) 対象
活動紹介用リーフレット	赤十字活動のPRと会員募集 (6,000部)	地区・分区、各施設ほか
赤十字運動用PRポスター	赤十字活動のPRと会員募集 (2,870部)	地区・分区、各施設ほか
赤十字NEWS	日本赤十字社広報紙 (38,700部)	赤十字会員、赤十字関係者
活動紹介DVD	日本赤十字社活動紹介DVD「赤十字この一年」	地区・分区、各施設

(2) 支部作成の広報資材の配布

名 称	作製目的・主な内容	主な配布 (視聴) 対象
活動資金募集用チラシ	赤十字活動のPRと会員募集 (513,000部)	一般
支部広報誌「赤十字しが」	滋賀県支部の事業実施状況報告 (33,000部)	赤十字会員、奉仕団、地区・分区、各施設ほか
赤十字PRパネルB0版	赤十字活動のPRと会員募集	各施設
事業報告書	滋賀県支部の事業実施状況報告	支部役員・評議員、地区・分区、各施設
ポケットティッシュ	赤十字活動PRと 地域奉仕団員募集 (36,500個)	地区分区、奉仕団
赤十字パネル	赤十字活動紹介パネル	奉仕団、地区・分区、各施設ほか

(3) 世界赤十字デー周知キャンペーン

ア 赤十字フラッグの掲揚

- 期間 5月1日～30日
- 場所 彦根市役所前道路、夢京橋キャッスルロード

(4) 赤十字体験バスの開催

地域で赤十字活動資金の募集等に携わっていただく自治会役員等に、赤十字事業の説明や施設見学、救急法等の講習体験等を通じて、赤十字事業および活動資金募集等へ一層ご理解をいただくことを目的に開催した。

対 象	開 催 日	参加者数	内 容
田上学区自主防災会	11月20日	21人	<ul style="list-style-type: none">• 支部救護倉庫見学• 非常食(ハイゼックス)づくり体験• 赤十字事業説明• 赤十字講習体験
高島市民生委員児童委員協議会連合会	2月17日	15人	<ul style="list-style-type: none">• 赤十字事業説明• 非常食(ハイゼックス)づくり体験• 災害救護活動について• 赤十字講習体験

(5) 企業・団体が主催するイベント等での広報

主 催	行 事 名	実 施 日	内 容
協同組合平和堂同友店会	チャリティーゴルフコンペ	6月5日	滋賀県支部事業説明、平成30年7月豪雨災害活動状況DVD上映
滋賀県中小企業青年中央会、滋賀県中小企業団体中央会	第20回滋賀県中小企業青年中央会まつり びわこフェスタ2019	11月23日	救援物資の展示、AED体験、避難所で役立つ防災グッズ制作体験

(6) 主な広報活動

ア テレビスポットによる広報

びわ湖放送株式会社様のご協力を得て、以下のとおりテレビスポットによる広報を実施した。

- 期間 5月1日～31日（6月以降も放映）
- TV-CM15秒／30秒

イ ラジオスポットによる広報

株式会社エフエム滋賀様のご協力を得て、下記のとおりラジオスポットによる広報を実施した。

- 期間 5月1日～31日（6月以降も放送）
- ラジオCM20秒

ウ JR駅構内でのB1ポスターの掲出

- 期間 5月1日～31日

エ 近江鉄道、スーパー等でのB2、B3ポスターの掲出

- ・期間 5月1日～31日

オ 懸垂幕の掲出

- ・場所 日本赤十字社滋賀県支部事務所ビル横
- ・内容 人間を救うのは、人間だ。— 赤十字活動資金に協力下さい。—

カ 広報用ポスターパネルの制作

12種類のポスターパネルを制作し、イベントや支部玄関ホールで掲示した。

キ 支部ホームページの更新

不特定多数の方々にPRが図れる広報媒体であることから、当支部をはじめとする日本赤十字社の活動紹介、救急法等の健康・安全講習の案内、青少年赤十字活動の紹介など、更なる赤十字活動の発信に努めた。

(7) 令和元年度防災・減災プロジェクト～私たちは、忘れない。～の実施

本プロジェクトは、東日本大震災から5年を契機に、継続した復興支援と、防災・減災意識の向上を目的に、全国的なプロジェクトとして実施しているもので、令和元年度も、過去の災害の教訓を忘れることなく、これまでの災害経験をもとに日本赤十字社、ボランティア、企業・団体等が一丸となって本プロジェクトに取り組み、将来起きる災害に対する防災・減災意識の向上をめざし、防災・減災プロジェクト～私たちは、忘れない。～を実施した。

キャンペーンでは、ポスター掲示やホームページ上でのリンクバナー掲示等、PRにご協力いただける企業・団体を募集したところ、数多くの企業・団体からご賛同をいただいた。

ア 期間：令和2年3月1日～31日

イ キャンペーンの内容

① ポスター掲示

期間中、以下の企業・団体等の事業所などにポスターを掲出した。

○ご賛同いただいた企業・団体 計18企業・団体

滋賀県農業協同組合中央会、滋賀県信用農業協同組合連合会、滋賀双葉ビル整備株式会社、三和産業株式会社、滋賀県立八幡高等学校、大塚オーミ陶業株式会社、東近江市立五個荘中学校、西村建設株式会社、米原市、豊郷町、社会福祉法人米原市社会福祉協議会、株式会社農協観光滋賀支店、アインズ株式会社、他5社

(順不同)

② ホームページ掲載

期間中、以下の企業・団体等のホームページに本プロジェクト特設サイトへリンクされるバナーの掲示をした。

○ご賛同いただいた企業・団体 計3企業・団体

豊郷町、東近江市立五個荘中学校、アインズ株式会社

13 有 功 会

日本赤十字社滋賀県支部有功会は、金色有功章を受章され、趣旨に賛同された方々により、昭和48年10月1日、会員58人で発足。平成9年から銀色有功章受章者まで会員範囲を拡大し、会員相互の親睦や健康の保持、赤十字思想の普及と重要業務の進展に協力、人類福祉の増進に寄与することに努めている。

(1) 会員の数（個人・法人）

前年度末会員数	本年度新規会員数	退 会 者 (亡くなられた方を含む)	年度末会員数
384人	12人	17人	379人

(2) 事業内容

ア 有功会総会の開催

7月11日 午前10時から琵琶湖ホテルにおいて開催

102人参加

- ・平成30年度有功会事業並びに収支決算報告書
- ・令和元年度有功会事業計画(案)並びに収支予算(案)
- ・役員改選について

イ 特別講演会

7月11日 同上総会において実施

演題 『天に一番近い大地チベットからのお話 ～異文化を超えて～』

講師 チベット声楽家 バイマーヤンジン氏

ウ 会員懇親会

7月11日 総会終了後、同会場にて開催 98人出席

エ 日赤紺綬・有功会会長協議会総会

10月10日～11日 福岡県福岡市 ホテル日航福岡

大道良夫会長出席

オ 会員親睦旅行

10月24日～25日 28人参加(職員4人含む)

宿泊先：岐阜県関市 神明温泉 湯元すぎ嶋

カ 会員健康診断

	2日(1泊)	1日
大津赤十字病院	19人	52人
長浜赤十字病院	3人	13人
合 計	22人	65人

キ 大津赤十字看護専門学校卒業生に卒業記念品の贈呈

令和元年度大津赤十字看護専門学校卒業生22人に卒業記念品〔化粧ポーチ(女性)・目覚まし電波時計(男性)]を贈呈した。

ク 青少年赤十字活動支援

滋賀県支部主催の「青少年赤十字メンバートレーニングセンター」参加メンバーと指導者53人に対し、参加記念品(防災グッズ・付箋セット・ボールペン等)を贈呈した。

ケ 災害救護活動支援

災害時に救護班が携行する非常食86食を寄贈した。

コ 国際活動事業の支援

支援先・支援内容

ネパール赤十字社 学校における水・公衆衛生の促進

バヌアツ赤十字社 学校における災害リスク軽減・学校安全

支援金額 30,000円

サ 法人会員による「私たちは忘れない」～未来につなげるプロジェクト～への協力

協力企業 5社 滋賀双葉ビル整備 株式会社

三和産業 株式会社

大塚オーミ陶業 株式会社

西村建設 株式会社 他1社

シ 役員会等の開催

- 有功会親睦旅行選定委員会（文書審議）

第1回 2月25日

第2回 3月6日